

当院の胃癌診療の特色のご紹介

胃癌手術における当院での取り組みについて、ご紹介致します。

岡山赤十字病院
消化器外科
赤井 正明

低侵襲手術

当院では、**腹腔鏡手術を基本**として行っており、患者様への術後の侵襲低減に努めています。術後成績も、全国的なハイボリュームセンターに遜色ない結果であることを論文で報告しています。2023年の胃癌の**術後在院日数の中央値は10日であり、県内トップクラスの短期間**となっております。

術前化学療法

積極的に術前化学療法を導入。奏功すれば、出来る限り胃を温存する術式を選択することが可能。当院での術前化学療法の成績は、**非常に良好**であり（**pathological CR 率 22.7%**）、各種学会の発表に取り上げられております（第84回臨床外科学会総会ワークショップ、第98回中国四国外科学会総会シンポジウムなど）。

オーダーメイド治療

患者様の**年齢や状態に合わせた治療を提案**します。高齢者に対する手術も、無理のない範囲で行うノウハウを持っています。できるだけ、胃全摘を回避し、**術後のQOL、健康寿命を意識した治療**を心がけています。

詳細はリニューアルされた当院ホームページをご覧ください。



2024年4月からスタッフを増員し、腹腔鏡手術の手技資格である**内視鏡技術認定医が2人体制**になっております。さらに今後、**ロボット支援 (da Vinci) 手術の導入**も予定しております。引き続き、地域のがん拠点病院として、貢献してまいりますので、胃癌患者様がおられましたら、是非とも当院へご紹介ください。